

平成20年10月24日

村上市長 大 滝 平 正 様

朝日地区地域審議会
会長 小 田 昌 隆

市総合計画策定に向けた各地域のまちづくりの基本的方向について
(答申)

平成20年7月29日諮問された「市総合計画策定に向けた各地域のまちづくりの基本的方向（合併市町村基本計画上のゾーニング）」について、慎重に審議した結果、本地区地域審議会としては、基本的には「合併市町村基本計画」に示された基本的方向を各地域のまちづくりの基本的方向とすることに異論はなく、適当と認めましたので答申します。

なお、総合計画の策定に当たっては、下記の事項に十分配慮されることを要望します。

記

- 1 当地域の基幹産業は農業であることから、農業に関する取り組みについてもっと盛り込んでいただきたい。今、農業を取り巻く環境は特に厳しいものがあるが、高速交通網の整備や既存の宿泊施設に加え、農家民宿、民泊など受入態勢も確立されつつあることから、当地域の豊かな自然環境の中にある田園風景を最大限に活かしながら、都市の住人が中長期的に滞在し農業体験ができる環境を整備し、交流人口の拡大を図ることで地域の活性化を推進されることを要望します。
- 2 当地域は奥三面遺跡群や大須戸能に代表されるように、先人が培ってきた歴史的遺産や伝統文化の宝庫でもある。先人を想い、歴史風土に根ざした教育文化の香り高いまちづくりを推進されることを要望します。
- 3 今回諮問を受けた事項は、総合計画の中の「土地利用構想」という限られた部分ではあったが、今後策定される総合計画においてはこれらの意見に十分配慮され、地域の素材を活かしたまちづくりのために最大限の努力を払われることを切望します。